「清流の国ぎふ森林・環境税」に関するアンケート調査結果

森林活用推進課

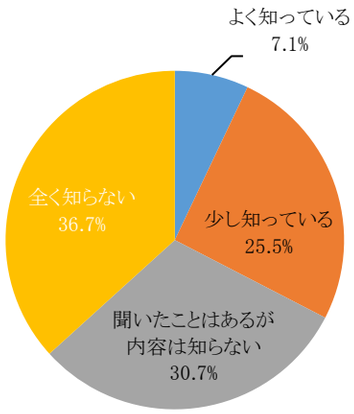
1 調査目的

「清流の国ぎふ森林・環境税」（以下「県森林・環境税」という。）に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の森林・環境施策の基礎資料とさせていただくために、ご意見などを伺いました。

2 調査結果

問1　あなたは、県森林・環境税について知っていますか。

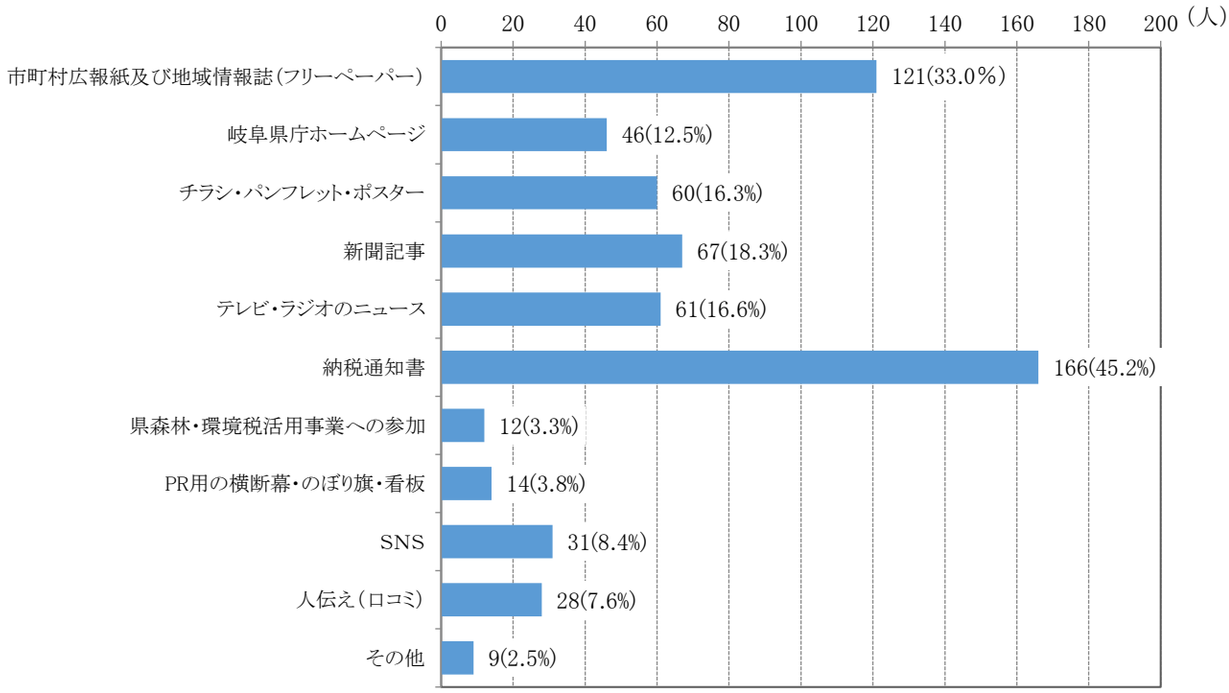
	回答数	割合
よく知っている	41	7.1%
少し知っている	148	25.5%
聞いたことはあるが内容は知らない	178	30.7%
全く知らない	213	36.7%
計	580	100.0%



問2　（問1で「よく知っている」「少し知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と答えた方）
あなたが、これまでに県森林・環境税について見たり聞いたりしたことのある媒体について、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

（複数回答）　回答者　367　人

	回答数	割合
市町村広報紙及び地域情報誌（フリーペーパー）	121	33.0%
岐阜県庁ホームページ	46	12.5%
チラシ・パンフレット・ポスター	60	16.3%
新聞記事	67	18.3%
テレビ・ラジオのニュース	61	16.6%
納税通知書	166	45.2%
県森林・環境税活用事業への参加	12	3.3%
PR用の横断幕・のぼり旗・看板	14	3.8%
SNS	31	8.4%
人伝え（口コミ）	28	7.6%
その他	9	2.5%
計	615	－



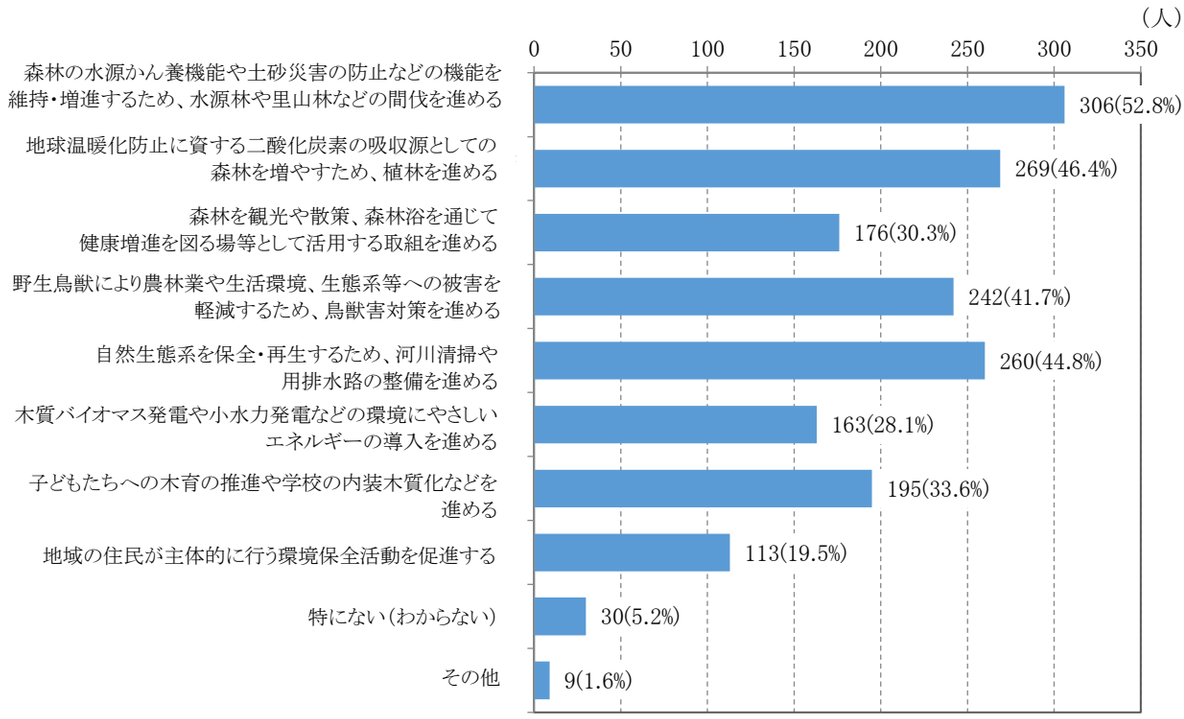
「その他」のうち主なもの

・自主的な情報収集
・学校
・仕事の関係
・岐阜県農業フェスティバル

問3　県森林・環境税は、現在、森林づくりや川づくり、水環境の保全などに関する取組に活用されています。同税を活用して、あなたが県に取り組んでほしいと思うものについて、次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

（複数回答）　回答者　580　人

	回答数	割合
森林の水源かん養機能や土砂災害の防止などの機能を維持・増進するため、水源林や里山林などの間伐を進める	306	52.8%
地球温暖化防止に資する二酸化炭素の吸収源としての森林を増やすため、植林を進める	269	46.4%
森林を観光や散策、森林浴を通じて健康増進を図る場等として活用する取組を進める	176	30.3%
野生鳥獣による農林業や生活環境、生態系等への被害を軽減するため、鳥獣害対策を進める	242	41.7%
自然生態系を保全・再生するため、河川清掃や用排水路の整備を進める	260	44.8%
木質バイオマス発電や小水力発電などの環境にやさしいエネルギーの導入を進める	163	28.1%
子どもたちへの木育の推進や学校の内装木質化などを進める	195	33.6%
地域の住民が主体的に行う環境保全活動を促進する	113	19.5%
特にない（わからない）	30	5.2%
その他	9	1.6%
計	1763	－



「その他」のうち主なもの

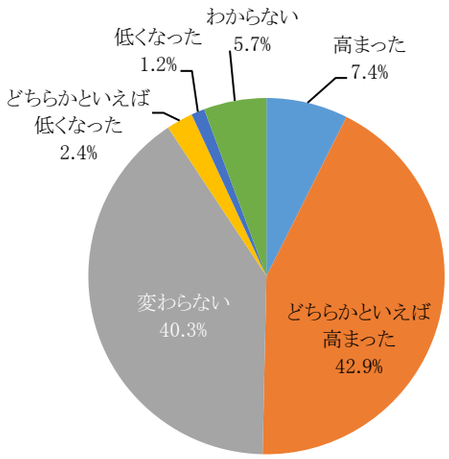
・森林資源の活用を推進してほしい

・スギ・ヒノキの伐採や花粉の少ない品種への転換を進めてほしい

・街路樹や樹木の適切な維持管理を進めてほしい

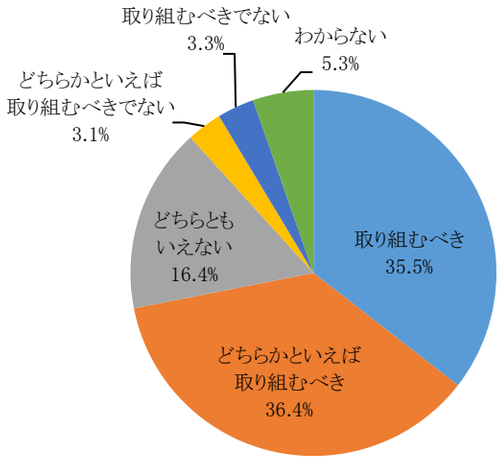
問4　近年、森林や川、水環境、生物多様性、自然環境に対する理解・関心は高まったと感じますか。

	回答数	割合
高まった	43	7.4%
どちらかといえば高まった	249	42.9%
変わらない	234	40.3%
どちらかといえば低くなった	14	2.4%
低くなった	7	1.2%
わからない	33	5.7%
計	580	100.0%



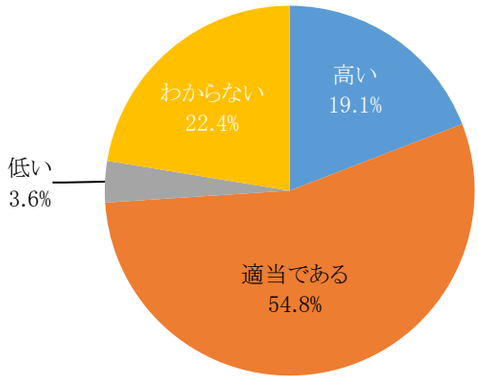
問5　現在の県森林・環境税は、令和8年度までを課税期間とし、自然環境の保全・再生に活用されています。令和9年度以降も、県森林・環境税を活用し、森林や自然環境に関する施策に取り組むべきだと考えますか。

	回答数	割合
取り組むべき	206	35.5%
どちらかといえば取り組むべき	211	36.4%
どちらともいえない	95	16.4%
どちらかといえば取り組むべきでない	18	3.1%
取り組むべきでない	19	3.3%
わからない	31	5.3%
計	580	100.0%



問6　県では、県森林・環境税として、個人については年額1,000円を徴収していますが、この負担額について、どのように感じられますか。

	回答数	割合
高い	111	19.1%
適当である	318	54.8%
低い	21	3.6%
わからない	130	22.4%
計	580	100.0%



問7　その他、森林や自然環境に関する県の施策に対して、ご意見などがございましたらお聞かせください。

回答者　231　人

（主な意見）

＜広報について＞

・ 森林や自然環境について普段意識することがないため、どのようにその税金が使われているか知ることが出来たら、前向きに払えると思う。ポスターやチラシで、どのように使われているか知りたい。
・ 「清流の国ぎふ森林・環境税」がどのような取組にいくら使われ、それによりどのような効果があったか、県民に「分かりやすく（義務教育レベル修了未満の方が理解できることが目安）」伝えることも大切だと思う。
・ 今回のアンケートで初めて森林・環境税の存在を知りました。森林や自然環境を守るための取り組みは大切だと思いますが、多くの県民が税の存在や使い道を知らないのではないかと感じます。どのような事業に活用されているのか、より分かりやすく周知していただきたいです。

＜県森林・環境税の負担感、徴収について＞

・ 県森林・環境税が高いと感じるのは、実際にどのように使われ、この成果がわかりにくいところにあると思う。その点を分かりやすく示すことが必要だと感じる。
・ 森林・環境税は企業から徴収するべき
・ 岐阜県は森林が多い県であるため、そこの整備などに費用がかかるのは致し方ないと思う。自然を活かした、観光スポットが県内に点在するようにもう少し増えるとよい。
・ 岐阜県は県土の約81％が森林で、全国でも有数の森林県です。そのため、森林を適切に管理し、水源の保全や土砂災害の防止、地球温暖化対策を進めるには継続的な費用が必要だと思います。年額1,000円でこれらの環境を守ることにつながるのであれば、負担額を少し高くしてもよいと考えます。岐阜県の南側に住む人は、山の恩恵を過小評価していると考えられるので、その人たちに活動内容、使途を明確に伝えられれば、非難は少ないと思います。

＜環境・クマ対策について＞

・ クマ被害が全国的に報じられているため、自然環境についての関心は高まっていると思います。安全に暮らすことができるように対策してもらいたいです。
・ クマなどの問題もありますし、確かに町に動物が下りてきています。森林に手を入れることにより、動物たちが人里に下りてこなくて済むような施策が出来たらよいかと思います。
・ 環境を守ることは開発と同じくらい重要。また最近クマのニュースが多い。駆除は致し方ないところもあるがなるべく避けたい。クマと共存できるような（山に近い人が心配しなくてよい、クマも下りてこなくても食べ物があるような）方法があるならいろいろやってみて欲しい。
・ 動植物の保護活動を推進することや、動物による農作物に対する被害低減、クマ対策に関する取組をしてほしい。

＜県森林・環境税の使途について＞

・ スギヒノキの花粉対策は、国としても推進しているため、ぜひ岐阜でも推進してほしい。
・ 木遊館のような木を全面に使った施設は、子どもにとって森林や自然が身近なものになるキッカケとなるので、今後も増えていくとうれしい。
・ 空き家や空き地を活用し、田畑をこれ以上つぶさないような取り組みをしてほしい。
・ 山に囲まれた岐阜県らしく県民が愛し集まれる多角的に学べ遊べる森林公園を整備してほしい。
・ 岐阜県民であるのに、どうしても費用の問題で、住宅を建設する際に、コストの低い輸入集成材を使用している現状がもったいないと感じている。県産材を使用して住宅等を建設しやすくなるよう補助してほしい。
・ 施策において県民との接点が少ない　多くの県民との接点ができる施策を検討して欲しい

＜太陽光発電について＞

・ 森林・環境税が適切に使われているのであれば、自然を守るために支払うのは問題ありません。
近年山を削った大規模な太陽光発電をよく見かけます。自然を破壊しているとしか思えません。
・ メガソーラーを作るのはやめてほしい。里山の保水力が低減し、土砂崩れが起こっている。
・ 山の斜面に太陽光パネルを設置していて、自然環境および見た目にも全く良くないと感じる。災害も起きやすくなり、地球温暖化を加速させていると思う。
今後の許可をしない様にはできないか？